

事業名	富士見町再生可能エネルギーの事業化促進事業
実施箇所	諏訪郡富士見町
事業概要	<p><b>①事業目的</b>  <b>（事業を行う背景・課題・必要性を記載）</b>          富士見町を中心とした八ヶ岳周辺地域において様々な地域資源を活かした自然エネルギーを推進するために周辺住民のための自然エネルギーに関する情報プラットフォームを構築するとともに、八ヶ岳周辺で太陽光パネルを設置した住宅の発電量などを調査しホームページ上で公表、新たに自然エネルギー導入を考えている人に情報を提供する。          県の構想「1村1自然エネルギー」を目指し、木質バイオマス、小水力、太陽光発電地域循環型発電事業化を検討、ファンドを取り入れた地域による地域のための自然エネルギーの設置を検討する。</p> <p><b>②事業内容（モデル的で発展性のある事業である理由についても記載）</b>  <b>（実施の時期、場所、規模、方法等について具体的に記載）</b></p> <p>1 新エネ×ソーシャル八ヶ岳          3. 1 1 震災以降関心の高まっている自然エネルギーに関する普及のため、八ヶ岳周辺における自然エネルギーに関する情報および活動を集約する情報プラットフォームを作成する。          八ヶ岳周辺で太陽光パネルを設置した住宅の向き場所などの違いによる発電量の違いなどを調査しホームページ上で公表する。          制作時期：平成24年6月～平成24年9月          運用時期：平成24年10月～          サイト情報（案）：yatsugatake-energy.com</p> <p>2 八ヶ岳エコファームプロジェクト          特定の土地における木質バイオマス、小水力、太陽光発電を設置した自然エネルギー学習型施設「八ヶ岳エコファーム」の事業化検討のためのワークショップおよび講演会を3回開催する。          「1村1自然エネルギー」構想に沿った事業を目指し市民ファンド検討のためのワークショップ及び講演会を開催する。          〈ワークショップ・講演会〉          小水力についての講演会及びワークショップ          開催時期：平成24年7月          場所：富士見コミュニティプラザ          講師：自然エネルギー政策プラネットホーム（JREPP）松原氏</p>

太陽光発電についての講演会及びワークショップ

開催時期：平成 24 年 9 月

場所：富士見コミュニティプラザ

講師；自然電力株式会社代表取締役磯野謙氏

木質バイオマスについての講演会及びワークショップ

開催時期：平成 24 年 11 月

場所：富士見コミュニティプラザ

一般社団法人日本木質ペレット協会会長熊崎 氏

市民ファンドについての講演会及びワークショップ

開催時期：平成 24 年 10 月

場所：富士見コミュニティプラザ

テーマ「300kw 相当を想定した太陽光発電の設置について」

講師：おひさまファンド代表原亮弘氏

環境エネルギー政策研究所吉岡剛氏

参加者目標：50 人×4 回＝計 200 人

### ○モデル的で発展性のある事業である理由

八ヶ岳周辺の地域を限定する事で身近な新エネルギーに関する情報にリーチできる点。ウェブを通して利用者がコミュニケーションできるウェブシステムを導入する事で住民の活発な情報発信が期待できる点。太陽光パネルを設置した場合の情報を流すことで自然エネルギーを検討している人への啓発。そして富士見町をフィールドにした地域資源を活かした新エネルギーのエコファームを検討していくことで社会学習の機会や観光資源として強く期待できる点。

### ③事業効果（可能な限り数値化すること）

（①の事業目的に対応した課題がどのように解消されるか記載）

#### 1 新エネソーシャル八ヶ岳

サイト訪問者目標：10000 人

自然エネルギーにまつわる事例の紹介数：20 コンテンツ

#### 2 八ヶ岳エコファームプロジェクト

自然エネルギー普及活動効果：50 人×4 回＝計 200 名